

2 人口の基本的属性

(1) 男女別人口

人口を男女別にみると、12年に比べて男子は8,399人(0.6%)減少、女子は2,110人(0.1%)減少して、男子1,479,941人、女子1,495,226人となった。この結果、総人口における性比(女子100人に対する男子の割合)は99.0となり、12年に比べて0.4ポイントの低下となっている。性比の推移をみてみると、戦後一貫して上昇傾向で推移し平成7年には99.8となったがその後は低下を続けている。(第1表)

【全国の性比：95.3(12年に比べて0.5ポイント低下)】

性比を5歳階級別にみると、0～4歳から65～69歳までの階級では100を超えているが、70～74歳の階級から100を下回り、その上の階級では急激に低下し85歳以上では38.8となっている。(図-8、表-8)

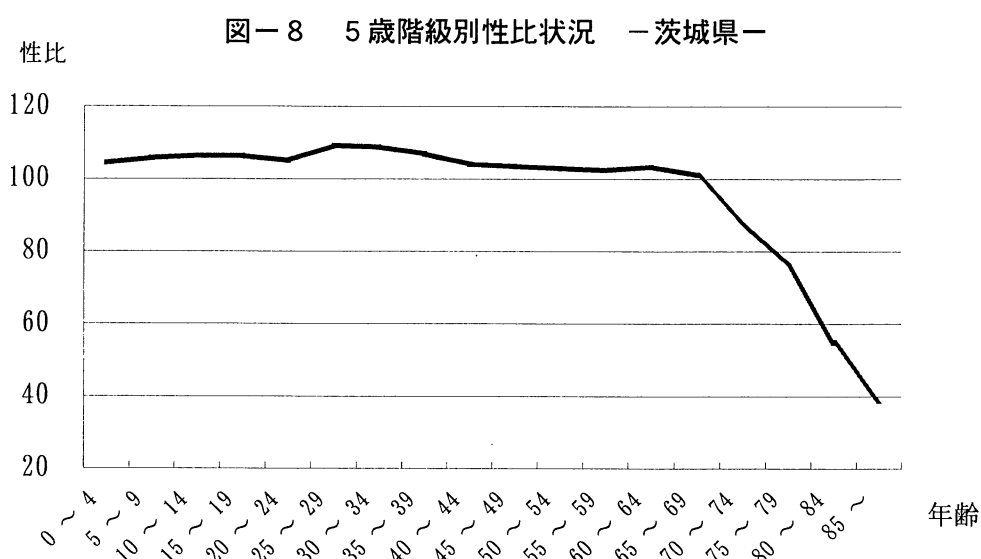


表-8 年齢5歳階級別性比 -茨城県-

年齢階級	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
性比	104.4	105.7	106.4	106.4	105.0	109.2	108.8	107.0	104.1
年齢階級	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～
性比	103.4	102.9	102.4	103.4	101.1	88.3	76.2	54.8	38.8

性比を地域別にみると、高い方から、鹿行地域(102.0)、県南地域(100.0)、県西地域(99.2)、県北地域(98.2)、県央地域(95.8)の順となっている。

市町村別にみると、小川町(108.6)、つくば市(105.8)、鹿嶋市(105.5)、神栖市(104.9)旭村(103.6)、美浦村(102.5)などが高く、常陸太田市(94.1)、水戸市(94.3)、利根町(94.3)大子町(94.6)、笠間市(94.9)などが低くなっている。(表-9、第2表)

表一9 市町村別性比状況

性比	県北地域 (98.2)	県央地域 (95.8)	鹿行地域 (102.0)	県南地域 (100.0)	県西地域 (99.2)
110.0未満		小川町(108.6)	鹿嶋市(105.5)	つくば市(105.8)	
105.0未満			神栖市(104.9) 旭村(103.6)	美浦村(102.5)	
102.5未満	ひたちなか市(101.3) 東海村(100.9)		大洋村(100.0)	守谷市(101.6) かすみがうら市(101.1) 玉里村(100.5) 龍ヶ崎市(100.3)	八千代町(101.6) 五霞町(101.4) 千代川村(101.4) 坂東市(101.3) 石下町(100.5) 結城市(100.1)
100.0未満	日立市(99.2) 北茨城市(97.5)	茨城町(98.4) 美野里町(97.9) 岩間町(97.9)	銚田町(97.8)	土浦市(99.2) 牛久市(98.6) 阿見町(98.6) 伊奈町(98.5) 稲敷市(97.9) 谷和原村(97.9)	境町(99.8) 古河市(99.4) 下妻市(98.7) 筑西市(98.3) 水海道市(98.1)
97.5未満	高萩市(95.8) 那珂市(95.7) 常陸大宮市(95.0)	友部町(96.3) 大洗町(96.3) 城里町(95.1)	潮来市(97.3) 行方市(97.0)	新治村(97.3) 取手市(97.3) 石岡市(95.8) 河内町(95.5)	桜川市(95.8)
95.0未満	大子町(94.6) 常陸太田市(94.1)	笠間市(94.9) 水戸市(94.3)		利根町(94.3)	

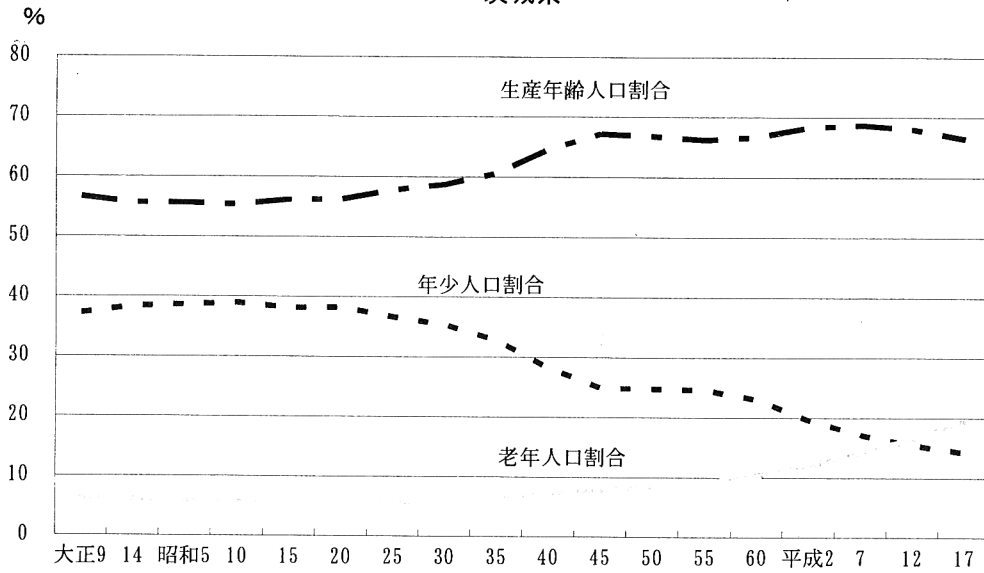
(2) 年齢別人口

年齢3区分で見ると、年少人口(0～14歳)は422,913人(総人口の14.2%)、生産年齢人口(15～64歳)は1,974,159人(同66.4%)、老年人口(65歳以上)は576,272人(同19.4%)となった。年少人口は、平成12年に比べ35,588人(7.8%)減少し、総人口に占める割合も調査開始以来最も低くなっている。生産年齢人口は、56,201人(2.8%)減少し総人口に占める割合も1.6ポイント低下している。老年人口は、80,579人(16.3%)増加し総人口に占める割合も2.8ポイント上昇し調査開始以来最も高くなっている。(図一9、第4表)

【全国：年少人口割合13.7%、生産年齢人口割合65.8%、老年人口割合20.1%】

人口を5歳階級別にみると、55歳～59歳が243,946人で最も多く、次いで50歳～54歳(224,886人)、30歳～34歳(220,890人)の順となっており、総人口に占める割合は、それぞれ8.2%、7.6%、7.4%である。(第7表)

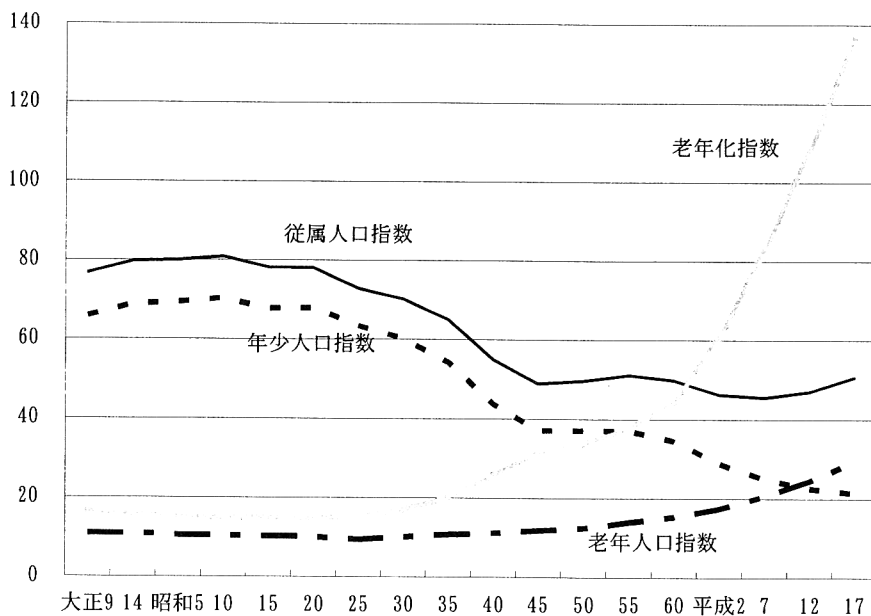
図-9 年齢(3区分)別人口割合の推移(大正9年～平成17年)
—茨城県—



年齢構造指数をみると、年少人口指数は12年に比べ1.2ポイント低下して21.4となり、従属人口指数は3.6ポイント上昇し50.6、老年人口指数も4.8ポイント上昇し29.2となっている。年少人口指数は調査開始以来最も低くなり、老年人口指数は最も高くなっている。さらに、年少人口に対する老年人口の割合である老年化指数は、12年に比べ28.2ポイント増の136.3となり急激に上昇している。(図-10、第4表)

【全国：年少人口指数 20.8 従属人口指数 51.4 老年人口指数 30.5 老年化指数 146.5】

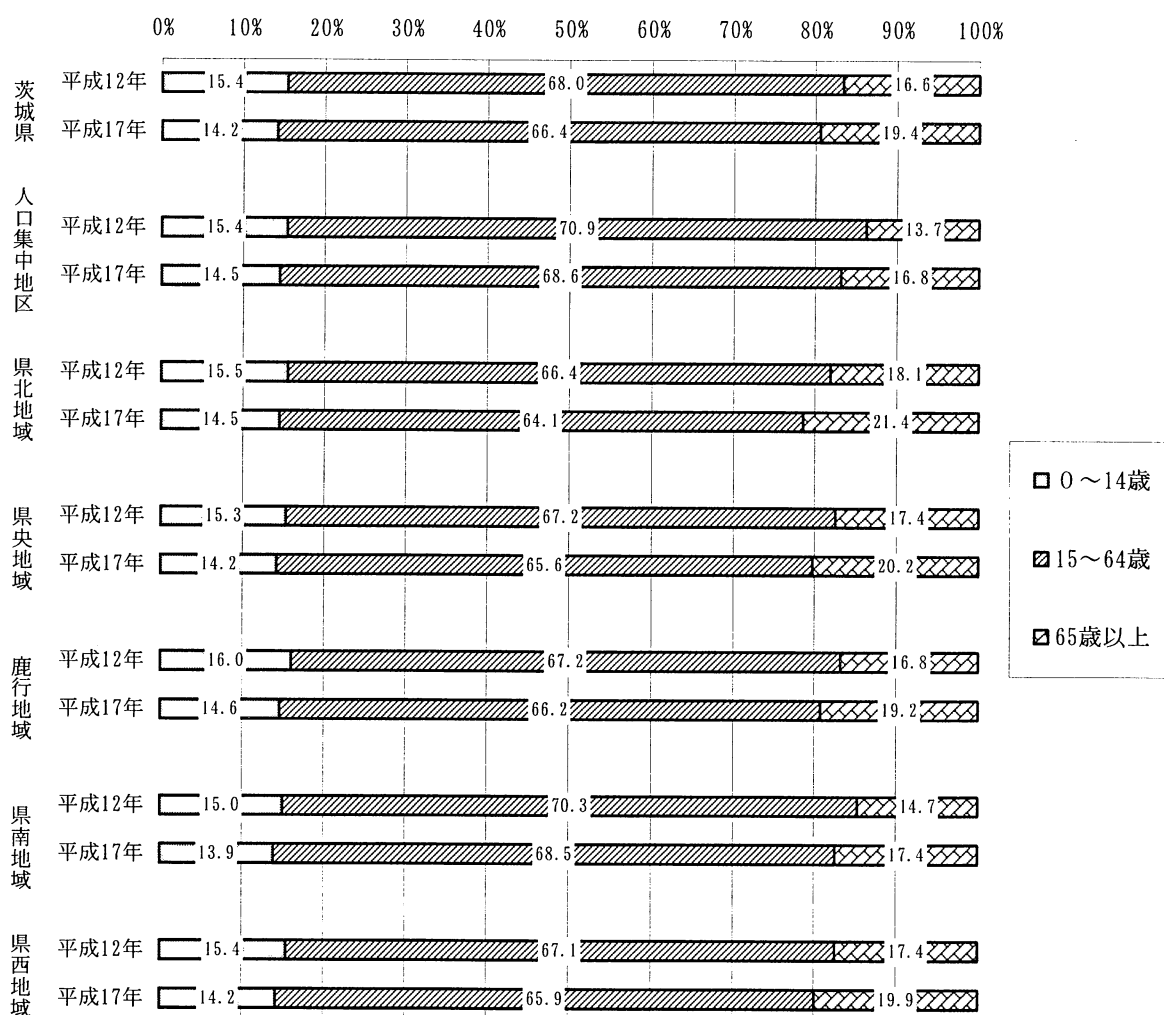
図-10 年齢構造指数の推移(大正9年～平成17年) —茨城県—



年少人口指数 = 年少人口 / 生産年齢人口 × 100
 従属人口指数 = (年少人口 + 老年人口) / 生産年齢人口 × 100
 老年人口指数 = 老年人口 / 生産年齢人口 × 100
 老年化指数 = 老年人口 / 年少人口 × 100

地域別にみると、年少人口割合では高い順に、鹿行地域（14.6%）、県北地域（14.5%）、県西地域（14.2%）、県央地域（14.2%）、県南地域（13.9%）であり、県南地域のみ県平均（14.2%）を下回っている。生産年齢人口割合では、県南地域（68.5%）、鹿行地域（66.2%）、県西地域（65.9%）、県央地域（65.6%）、県北地域（64.1%）であり、県南地域以外は県平均（66.4%）を下回っている。老年人口割合では、県北地域（21.4%）、県央地域（20.2%）、県西地域（19.9%）、鹿行地域（19.2%）、県南地域（17.4%）であり、県南地域と鹿行地域が県平均（19.4%）を下回っている。（図一11、第5表）

図一11 県、地域、年齢3区分別人口割合(平成12年, 平成17年)



市町村別に年齢3区分別人口割合をみると、老年人口割合が高い10市町村のうちの9市町村は生産年齢人口の割合が低い市町村と一致しており、また、老年人口割合が高い10市町村のうちの6市町村は年少人口割合が低い市町村とも一致している。（表一10、表一11、第5表）

また、年齢構造指数では、老年化指数の高い10市町村のうち8市町村までが老年人口指数の高い市町村と一致し、また、老年化指数の高い10市町村のうち7市町村までが従属人口指数の高い市町村と一致している。（表一12、表一13、第5表、別表1）

表一10 年齢(3区分)別人口割合の高い市町村

年少人口割合			生産年齢人口割合			老年人口割合		
順位	市町村名	割合 (%)	順位	市町村名	割合 (%)	順位	市町村名	割合 (%)
1	東海村	16.8	1	守谷市	72.1	1	大子町	34.2
2	神栖市	16.4	2	牛久市	71.2	2	大洋村	29.6
3	ひたちなか市	16.2	3	つくば市	70.8	3	常陸大宮市	27.1
4	石下町	15.9	4	利根町	70.2	4	常陸太田市	26.6
5	守谷市	15.8	5	阿見町	69.6	5	河内町	25.8
6	谷和原村	15.6	6	神栖市	69.3	6	行方市	25.7
7	下妻市	15.3	7	取手市	69.0	7	城里町	24.7
8	龍ヶ崎市	15.1	8	龍ヶ崎市	69.0	8	新治村	24.6
9	つくば市	15.0	9	五霞町	68.6	9	桜川市	23.8
10	小川町	15.0	10	古河市	68.3	10	大洗町	23.7
茨城県 14.2			茨城県 66.4			茨城県 19.4		

表一11 年齢(3区分)別人口割合の低い市町村

年少人口割合			生産年齢人口割合			老年人口割合		
順位	市町村名	割合 (%)	順位	市町村名	割合 (%)	順位	市町村名	割合 (%)
1	利根町	9.9	1	大子町	55.0	1	守谷市	12.1
2	大子町	10.8	2	大洋村	59.0	2	つくば市	14.2
3	大洋村	11.4	3	常陸大宮市	59.8	3	神栖市	14.3
4	取手市	11.9	4	常陸太田市	60.1	4	龍ヶ崎市	15.3
5	大洗町	12.2	5	城里町	61.6	5	牛久市	15.3
6	伊奈町	12.2	6	河内町	61.7	6	ひたちなか市	16.8
7	新治村	12.3	7	行方市	61.8	7	阿見町	16.9
8	茨城町	12.4	8	桜川市	62.2	8	東海村	17.0
9	河内町	12.4	9	北茨城市	63.0	9	古河市	17.4
10	行方市	12.5	10	新治村	63.1	10	鹿嶋市	17.5

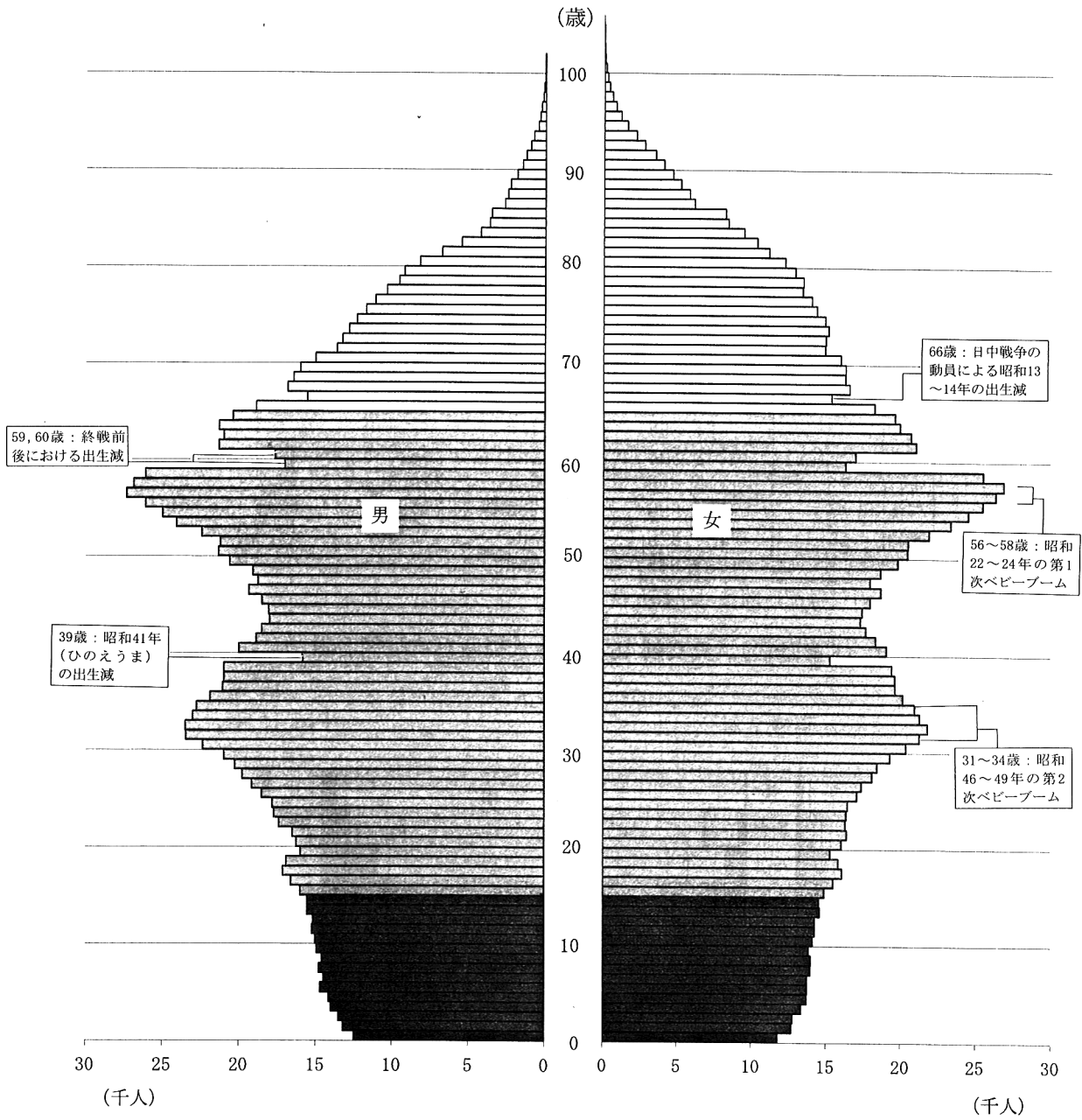
表一12 年齢構造指数の高い市町村

年少人口指数			老年人口指数			従属人口指数			老年化指数		
順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	東海村	25.3	1	大子町	62.2	1	大子町	81.8	1	大子町	317.7
2	ひたちなか市	24.2	2	大洋村	50.2	2	大洋村	69.6	2	大洋村	259.2
3	石下町	24.2	3	常陸大宮市	45.3	3	常陸大宮市	67.1	3	常陸大宮市	207.8
4	神栖市	23.7	4	常陸太田市	44.2	4	常陸太田市	66.3	4	河内町	207.6
5	谷和原村	23.5	5	河内町	41.8	5	城里町	62.3	5	行方市	205.9
6	下妻市	23.4	6	行方市	41.6	6	河内町	61.9	6	利根町	200.6
7	八千代町	23.3	7	城里町	40.1	7	行方市	61.8	7	常陸太田市	199.8
8	千代川村	23.0	8	新治村	38.9	8	桜川市	60.9	8	新治村	199.5
9	小川町	22.9	9	桜川市	38.3	9	北茨城市	58.7	9	大洗町	194.3
10	境町	22.8	10	大洗町	36.9	10	新治村	58.5	10	茨城町	188.2
茨城県 21.4			茨城県 29.2			茨城県 50.6			茨城県 136.3		

表一13 年齢構造指数の低い市町村

年少人口指数			老年人口指数			従属人口指数			老年化指数		
順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	利根町	14.1	1	守谷市	16.8	1	守谷市	38.7	1	守谷市	76.4
2	取手市	17.3	2	つくば市	20.0	2	牛久市	40.4	2	神栖市	86.9
3	伊奈町	18.0	3	神栖市	20.6	3	つくば市	41.3	3	つくば市	94.3
4	五霞町	18.3	4	牛久市	21.5	4	利根町	42.5	4	龍ヶ崎市	100.7
5	牛久市	18.9	5	龍ヶ崎市	22.1	5	阿見町	43.7	5	東海村	101.2
6	大洗町	19.0	6	阿見町	24.3	6	取手市	44.0	6	ひたちなか市	103.2
7	阿見町	19.3	7	ひたちなか市	25.0	7	龍ヶ崎市	44.0	7	牛久市	114.0
8	茨城町	19.3	8	古河市	25.5	8	神栖市	44.3	8	谷和原村	114.8
9	大洋村	19.4	9	東海村	25.6	9	五霞町	45.8	9	石下町	116.3
10	新治村	19.5	10	鹿嶋市	25.9	10	古河市	46.3	10	鹿嶋市	117.5

図—12 茨城県の人口ピラミッド（平成 17 年 10 月 1 日現在）



- 老年人口（65 歳以上の人口）
- 生産年齢人口（15～64 歳の人口）
- 年少人口（15 歳未満人口）